

# enplas

平成25年3月期(第52期)中間報告書

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

株式会社エンプラス

(証券コード：6961)



## エンプラス企業理念

Enplas Corporate Philosophy

### わが社の使命

信頼の絆をもとに、あらゆる変化に対応する強靱な経営基盤を堅持し、

1. お客さまに感謝される製品とサービスを提供します。
2. 能力と成果を公正に評価し、社員の生きがいを育みます。
3. 株主の皆さまの期待に応え、企業価値の向上を目指します。

これらの実践を通して豊かな社会の発展に貢献します。

### 事業領域

エンジニアリングプラスチックで培った先進技術をもとに、さらに最先端技術を追求し、

創造的価値を世界市場に提供します。

### 経営姿勢

1. 卓越した技術と信頼される製品により、競争力と成長力を追求します。
2. 健全な財務体質により着実な発展を図ります。
3. 全ての企業活動において確かな品質に責任を持ちます。

### 行動指針

1. 創造的な目標を掲げ、情熱を持って挑戦します。
2. 感謝の心と学ぶ姿勢を大切にします。
3. 公私を明確にし、公明正大に行動します。

#### 目次

エンプラス企業理念	1	四半期連結財務諸表	7
株主の皆様へ	2	会社概要・株式情報	9
事業の概況	3	事業所・グループ会社紹介	10
部門別概況	5		



株主の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

当中間期における世界経済は、欧州財政危機問題とこれに伴う中国をはじめとした新興国の経済成長の減速感が鮮明となってまいりました。わが国経済も世界経済の減速を背景とする輸出の鈍化、円の高止まり、個人消費の落ち込みにより、景気回復が足踏みする局面を迎えております。

当社を取り巻く事業環境におきましても、経営判断の迅速化と効率化、そして柔軟な対応力を必要とする変化の激しい経営環境が継続していくものと認識しております。

このような状況の中、当社では本年4月2日に液晶関連事業を分社化し、株式会社エンプラス ディスプレイ デバイスを設立、スピーディーな経営判断と対応でLED-TV関連製品の市場開拓とシェア拡大など、積極的な成長戦略を推進してまいりました。また、タイのピントン新工場と中国上海の新工場は本格稼働を開始し、国内外の生産体制の整備と継続的な原価低減強化を図るなど、持続的な事業成長に向けた強靱な経営基盤の構築を目指し、事業運営を行っております。

当社では、経営活動の成果を明確な形で株主の皆様へ還元することを基本方針とし、また安定的配当の考え方も取り入れ、今期以降の業績予想を勘案して中間配当を1株当たり20.00円とさせていただきます。

引き続き、新たな価値創造に向けて挑戦し続けていくとともに、お客さまに信頼されるサービスや価値をご提供するために、社員一同が高い志と強い一体感を持って、皆様からのご信頼とご期待にお応えしてまいります。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成24年12月

代表取締役社長

横田大輔

## 事業の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧州財政危機とこれに伴う中国、インドなどの新興国の輸出減による経済成長の減速が鮮明となりました。米国においては、雇用、住宅、自動車販売などの各指標に改善の兆しがあるものの、2013年初に控える「財政の壁」を前に予断を許さない状況が続いております。また、世界的な食糧価格の上昇も世界経済の不安定要素となっております。

わが国経済は、東日本大震災の復興需要とエコカー補助金等の政策効果に支えられた個人消費の増加により、緩やかな景気回復局面にありましたが、世界経済の減速による輸出の鈍化に加え、補助金などの政策効果にも陰りが見られ、景気回復が足踏みする局面を迎えております。また近隣諸国との関係悪化が景気を下押しする懸念も強まっております。

当社グループが関連する電子部品業界におきましては、OA機器の需要が欧州市場で停滞しましたが、自動車販売は米国、アジアで堅調に推移しました。LED光源液晶テレビについても、低コスト化を実現できる光源直下型タイプの採用数が着実に増加しました。

このような状況の中、当社グループは競争が厳しさを増すグローバル市場で打ち勝つために、今期の経営基本方針である「経営基盤の強化」を図るべく、「顧客基盤」、

「ものづくり基盤」、「創造基盤」、「品質基盤」を柱とする事業基盤の強化、および財務基盤の強化に向けた各種施策を実行しております。昨年のタイ洪水後に立ち上げたピントン新工場と中国・アジア地域の旗艦工場となる上海新工場は、本格稼働から安定稼働の段階に移り、また、需要の増大するLED用拡散レンズの供給のため、国内外の生産体制の強化を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における連結売上高は12,486百万円（前年同期比30.7%増）となり、収益面におきましても、連結営業利益は2,105百万円（前年同期比988.4%増）、連結経常利益は2,081百万円（前年同期比987.7%増）となり、連結四半期純利益は1,617百万円（前年同期は223百万円の連結四半期純損失）となりました。

## 第52期経営基本方針

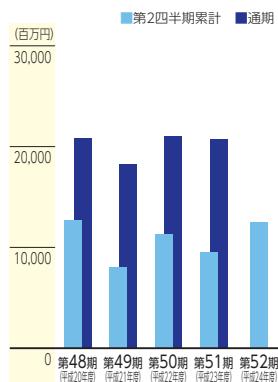
### ◇ 経営基盤の強化

- ・ 事業基盤の強化
- ・ 財務基盤の強化

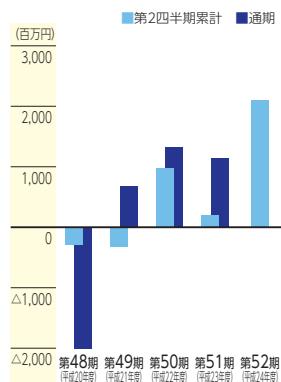
## 連結業績の推移

	第48期		第49期		第50期		第51期		第52期
	第2四半期累計 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	通期 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	第2四半期累計 平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで	通期 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで	第2四半期累計 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	通期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	第2四半期累計 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	通期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	第2四半期累計 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで
売上高 (百万円)	12,643	20,796	8,022	18,221	11,338	20,984	9,556	20,723	12,486
営業利益(△損失) (百万円)	△ 294	△ 2,008	△ 324	683	975	1,325	193	1,147	2,105
経常利益(△損失) (百万円)	△ 106	△ 1,721	△ 327	654	912	1,241	191	1,258	2,081
四半期(当期)純利益(△純損失) (百万円)	△ 1,094	△ 7,188	△ 440	256	289	306	△ 223	963	1,617
普通株式： 1株当り四半期(当期)純利益(△純損失) (円)	△ 64.47	△ 435.52	△ 28.57	16.71	18.89	20.00	△ 14.75	65.77	114.77
総資産 (百万円)	40,358	32,500	30,782	32,312	31,704	31,361	31,571	31,309	32,260
純資産 (百万円)	36,558	28,521	27,440	28,546	27,957	27,930	25,689	26,832	27,813
普通株式： 1株当り純資産 (円)	2,166.22	1,832.50	1,778.23	1,845.21	1,815.86	1,810.91	1,759.52	1,887.43	1,949.09
1株当り配当金 (円)	5.00	10.00	5.00	12.50	7.50	15.00	7.50	25.00	20.00

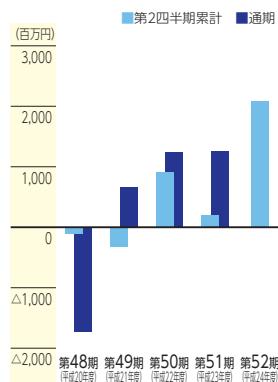
### ■売上高



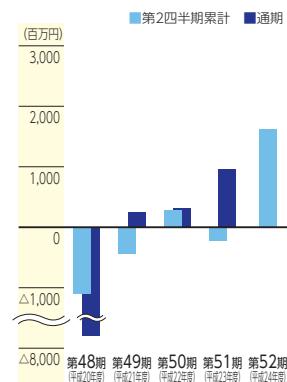
### ■営業利益(△損失)



### ■経常利益(△損失)



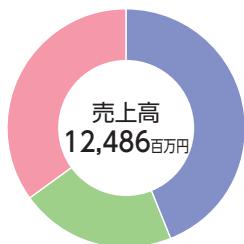
### ■四半期(当期)純利益(△純損失)



### 連結製品群別売上構成

第52期第2四半期連結累計

(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)

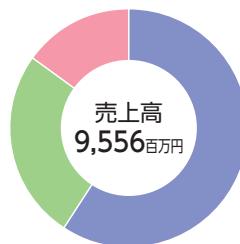


■ エンプラ事業	5,480百万円 (43.9%)
■ 半導体機器事業	2,651百万円 (21.2%)
■ オプト事業	4,354百万円 (34.9%) (旧LED関連事業含む)

### 連結製品群別売上構成

第51期第2四半期連結累計

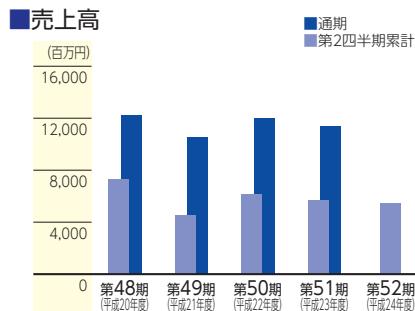
(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)



■ エンプラ事業	5,665百万円 (59.3%)
■ 半導体機器事業	2,463百万円 (25.8%)
■ オプト事業	1,427百万円 (14.9%) (旧LED関連事業含む)

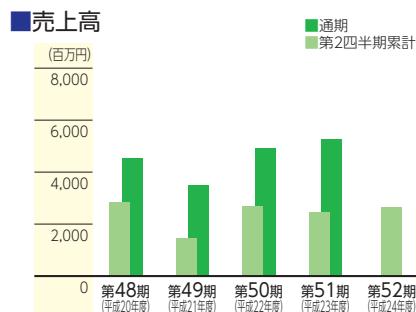
## エンプラ事業

自動車用部品は、米国、アジアにて堅調に推移しましたが、欧州の景気減速により当社主力製品であるプリンター用部品が低調に推移しました。国内における低コスト生産技術の推進、タイのピントン新工場の生産立ち上げに伴う初期費用の減少による原価改善はありましたが、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,480百万円（前年同期比3.3%減）、セグメント営業損失は77百万円（前年同期は92百万円のセグメント営業利益）となりました。



## 半導体機器事業

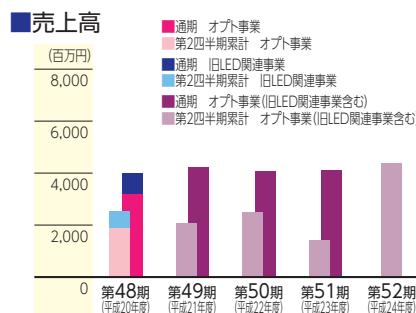
サーバー、ルーター向けバーンインソケットの受注は低調に推移しましたが、車載、CPU向けの受注が好調を維持しました。海外調達拡大による原価低減の効果もあり、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,651百万円（前年同期比7.6%増）、セグメント営業利益は271百万円（前年同期比47.3%増）となりました。



## オプト事業

光ピックアップレンズは価格競争の激化により受注減となりましたが、光通信関連レンズは、HPCやデータセンター向け大容量データ通信用のレンズアレイ製品の売上が伸びました。

LED用拡散レンズは、液晶テレビにおいてCCFL方式からLED光源方式への切り替えが加速したこと、さらにはLED光源液晶テレビの中でもコストメリットのある光源直下型タイプの採用が進んだことにより、当社レンズの搭載モデルが拡大いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,354百万円（前年同期比205.1%増）、セグメント営業利益は1,912百万円（前年同期は83百万円のセグメント営業損失）となりました。



■ 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当第2四半期 平成24年9月30日現在	前第2四半期 平成23年9月30日現在	前 期 平成24年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	21,506,808	21,029,773	20,259,205
現金及び預金	11,876,612	12,318,664	10,454,770
受取手形及び売掛金	5,428,446	5,118,722	5,752,524
有価証券	1,200,000	900,000	1,200,000
製品	652,954	638,336	600,496
仕掛品	413,484	363,408	384,089
原材料及び貯蔵品	530,192	408,096	473,386
その他	1,410,856	1,293,256	1,405,483
貸倒引当金	△ 5,739	△ 10,711	△ 11,547
固定資産	10,753,690	10,541,989	11,050,186
有形固定資産	9,518,028	8,898,310	9,565,391
建物及び構築物(純額)	3,560,930	3,524,593	3,330,582
土地	3,142,389	3,139,575	3,153,566
その他(純額)	2,814,708	2,234,141	3,081,242
無形固定資産	590,957	795,239	681,911
投資その他の資産	644,704	848,439	802,883
資産合計	32,260,499	31,571,763	31,309,391

(単位：千円)

科目	当第2四半期 平成24年9月30日現在	前第2四半期 平成23年9月30日現在	前 期 平成24年3月31日現在
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	2,995,276	4,192,502	2,883,524
買掛金	1,113,904	1,100,153	1,217,375
短期借入金	-	1,500,000	-
1年内返済予定の長期借入金	199,992	199,992	199,992
未払法人税等	336,073	137,600	120,952
賞与引当金	353,677	317,244	331,000
役員賞与引当金	37,505	23,040	48,483
その他	954,123	914,471	965,720
固定負債	1,452,173	1,690,142	1,593,048
長期借入金	600,016	800,008	700,012
退職給付引当金	9,896	9,674	8,979
役員退職慰労引当金	12,593	14,887	17,193
工場閉鎖損失引当金	757,000	757,000	757,000
その他	72,666	108,573	109,863
負債合計	4,447,449	5,882,645	4,476,572
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	29,749,168	27,803,878	28,257,400
資本金	8,080,454	8,080,454	8,080,454
資本剰余金	10,050,513	10,021,143	10,021,143
利益剰余金	20,333,889	17,884,860	18,963,011
自己株式	△ 8,715,689	△ 8,182,580	△ 8,807,209
その他の包括利益累計額	△ 2,196,658	△ 2,340,879	△ 1,697,526
その他有価証券評価差額金	△ 3,444	11,395	28,920
為替換算調整勘定	△ 2,193,214	△ 2,352,275	△ 1,726,447
新株予約権	241,564	209,487	253,023
少数株主持分	18,975	16,631	19,921
純資産合計	27,813,049	25,689,118	26,832,818
負債純資産合計	32,260,499	31,571,763	31,309,391

## ■ 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期累計 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	前第2四半期累計 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前 期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
売上高	12,486,261	9,556,211	20,723,236
売上原価	7,120,984	6,256,228	13,401,531
売上総利益	5,365,277	3,299,982	7,321,705
販売費及び一般管理費	3,259,762	3,106,533	6,174,612
営業利益	2,105,515	193,449	1,147,093
営業外収益	101,364	80,100	175,336
営業外費用	125,721	82,221	64,105
経常利益	2,081,158	191,328	1,258,323
特別利益	5,817	109,568	859,760
特別損失	42,802	324,203	843,066
税金等調整前四半期(当期) 純利益(△純損失)	2,044,173	△ 23,306	1,275,018
法人税、住民税及び事業税	472,356	146,647	247,487
法人税等調整額	△ 46,714	51,998	61,621
少数株主損益調整前四半期 (当期)純利益(△純損失)	1,618,531	△ 221,951	965,908
少数株主利益	1,394	1,419	2,592
四半期(当期)純利益(△純損失)	1,617,137	△ 223,371	963,316

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期累計 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	前第2四半期累計 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前 期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,094,744	189,266	2,067,537
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,223,687	△ 731,117	△ 2,127,069
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 256,995	1,167,111	△ 1,165,582
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 216,429	△ 339,992	△ 23,916
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,397,632	285,268	△ 1,249,030
現金及び現金同等物期首残高	11,600,300	12,849,331	12,849,331
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	12,997,933	13,134,600	11,600,300

## 会社概要

商号	株式会社エンプラス
所在地	埼玉県川口市並木二丁目三十番一号
設立	1962年2月21日
資本金	80億8,045万円

## 役員

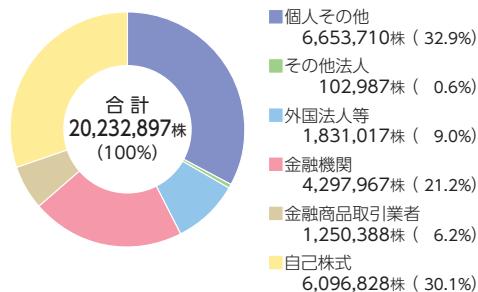
代表取締役社長	横田 大 輔
取締役	酒井 崇
取締役	菅原 昇
取締役	菊地 豊
取締役	丸山 良次
取締役	田宮 義男
取締役	長谷川 一郎
常勤監査役	手嶋 晴 幾
監査役	檀原 武
監査役	落合 栄

## 株式情報

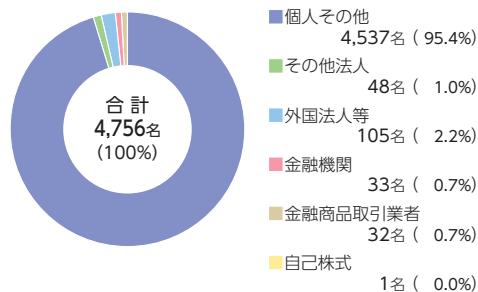
発行可能株式総数	62,400,000株
発行済株式総数	20,232,897株
株主数	4,756名

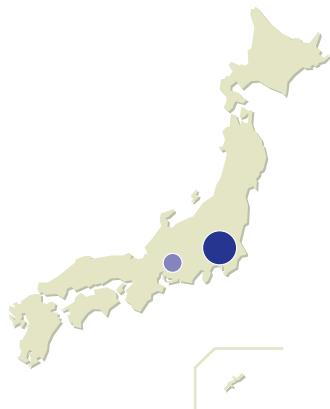
### 所有者別株式分布状況

#### 所有者別株式数



#### 所有者別株主数





## 事業所

### 本社

埼玉県川口市並木2丁目30番1号

### 川口事業所

埼玉県川口市弥平2丁目20番10号

### 鹿沼工場

栃木県鹿沼市さつき町7番2

### 名古屋営業所

愛知県名古屋市中村区名駅2丁目45番7号 松岡ビル3階

## 国内グループ会社

### 株式会社エンプラス研究所

埼玉県川口市並木2丁目38番5号

### QMS株式会社

埼玉県川口市上青木1丁目3番12号

### 株式会社エンプラス半導体機器

埼玉県川口市上青木1丁目19番57号

### 株式会社エンプラス ディスプレイ デバイス

埼玉県川口市並木2丁目30番1号

(平成24年4月2日に設立をいたしました。)

## 海外グループ会社

### Enplas (U.S.A.), Inc.

1901 West Oak Circle, Marietta, Georgia 30062, U.S.A.

### Enplas Tech Solutions, Inc.

1225 Innsbruck Dr., Sunnyvale, CA 94089-1317, U.S.A.

### Enplas Hi-Tech (Singapore) Pte. Ltd.

No. 28 Genting Lane, #07-03/04/05, Singapore 349585, Republic of Singapore

### Enplas Precision (Malaysia) Sdn. Bhd.

No.9&9A Jalan Hasil 2, Kawasan Perindustrian, Jalan Hasil 81200 Johor Bahru, Malaysia

### Enplas Precision (Thailand) Co., Ltd.

Hi-Tech Industrial Estate 104 Moo 1, Bhan Lain, Bang Pa-In, Ayutthaya 13160, Thailand

### Pinthong Factory (Thailand)

Pinthong Industrial Estate 2 150/30 Moo 9, Tambol Nongkham, Amphur Sriracha, Chonburi 20110, Thailand

### Enplas (Vietnam) Co., Ltd.

K-3 Plot, Thang Long Industrial Park, Dong Anh District, Hanoi, Vietnam

### Enplas Electronics (Shanghai) Co., Ltd.

Standard Building 85, No177, Yi Wei Road, Shanghai Waigaoqiao Free Trade Zone, Shanghai 200131, PRC

### Guangzhou Enplas Mechatronics Co., Ltd.

Floor 1, Standard Building 1, Hexing Industry Park, 10 Yongsheng Road, Yong He Economic Zone, Guangzhou Economic & Technological Development District, Guangzhou City 511356, P.R.C.

### Enplas Niching Technology Corporation

4F-1, No.27 Puding Road, Hsinchu City, 300 Taiwan, R.O.C.

### Enplas (Hong Kong) Limited

Suite 515, 5/F World Commerce Centre, Harbour City, 11 Canton Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong

### PT.Enplas Indonesia

Kawasan Industri Jababeka Tahap 3 Jl. Tekno Boulevard Blok 6 F Desapasirgombong, Kec. Cikarang Utara, Bekasi 17550, Indonesia

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	東京証券代行株式会社 東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル4階) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社本店および 全国各支店で行っております。
郵便物送付先、連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター (お問い合わせ先) ☎0120-49-7009
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告方法	電子公告 ( <a href="http://www.enplas.com">http://www.enplas.com</a> ) ただし、電子公告によることができないときは、日本経済 新聞に掲載する方法とします。 貸借対照表、損益計算書は、決算公告に代えてEDINET ( <a href="http://info.edinet-fsa.go.jp/">http://info.edinet-fsa.go.jp/</a> )にて開示しております。
上場金融商品取引所	東京証券取引所 市場第一部

### ■住所変更・単元未満株式の買取等のお申し出について

お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

### ■未支払配当金のお支払について

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

## 株式会社 エンプラス

〒332-0034 埼玉県川口市並木二丁目30番1号  
Tel : 048-253-3131 (代表)  
Fax : 048-255-1688  
<http://www.enplas.com>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

